

(記載例)

(様式1)

平成30年度次世代の海外研修への助成事業申請書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

氏名	〇〇 〇〇 印 生年月日 〇〇年 〇〇月 〇〇日生まれ (所属団体・学校名) ※所属団体及び学校に属していない方は記載不要		
現住所	〒 TEL FAX E-MAIL ※添付ファイルのWord文書をダウンロードできるE-mailアドレスを記載してください。協会からの電話やメールが受信できるように設定してください。		
申請額	〇 万円 ※5万円以上10万円以内、万単位で申請		
研修名	主催団体名	※自主企画の場合はその旨記載してください	
研修国	研修期間	〇〇月〇〇日 ~ 〇〇月〇〇日 (〇日間)	
研修目的	※この内容は審査委員会のヒアリングでも重視します。		
研修内容	訪問先やスケジュール等の研修内容について、具体的に記載してください。 ※この内容は審査委員会のヒアリングでも重視しますので、可能な限り具体的に記載してください。 (例) 10月1日 成田空港 発(搭乗便が決まっている場合は時間も記入) 〇:〇~ (宿泊先名)着 10月2日 9:00~ 〇〇〇〇(訪問先や活動内容を記載) 10:00~ 〇〇〇〇(活動内容を記載) 10月10日 〇〇空港 発 成田空港 着(搭乗便が決まっている場合は時間も記入)		

(記載例)

研修でどのようなことを、どのようなアプローチで学びたいかについて記載してください。(1,000字～1,200字)

※ゼミの先輩等、過去に申請した方の申請書との類似はチェックします。

研修でどのようなことをするのか、何を学びたいのかをご自分の言葉で記載してください。

(この内容は、審査委員会のヒアリングでも重視します。)

研修成果を生かし、研修終了後にどのような活動等を行うかについて記載してください。(300字～400字)

※ゼミの先輩等、過去に申請した方の申請書との類似はチェックします。

帰国後にどのようなことをするのか等をご自分の言葉で記載してください。

(この内容は、審査委員会のヒアリングでも重視します。)

(記載例)

収支予算書

(収入の部)

項目	金額 (単位:円)	備考
本事業による助成金	100,000	※5万円以上10万円以内、万単位で申請
自己財源 (自己資金)	41,340	
その他 (主催団体・所属団体等外部からの助成金があれば記載してください)	10,000	〇〇団体より、10,000円(国内移動費に充当) ※(支出の部)の助成対象経費の項目が、外部からの助成金と当協会からの助成金の合計額を超えないようにご注意ください。
収入合計	151,340	※支出合計と一致していることをご確認ください。

(支出の部) ※助成対象経費の積算根拠となる見積書を添付してください。

項目	支出額 (円)	内 助成対象経費 (円)	積算根拠 (円)
国内移動費	21,340	10,000	新幹線往復(郡山駅⇔上野駅) 8,200円×2 京成スカイライナー往復(京成上野駅⇔成田空港) 2,470円×2
渡航費	40,000	40,000	航空運賃往復(成田空港⇔クアラルンプール)
空港施設使用料	5,000	0	
燃油サーチャージ	5,000	0	
滞在費	70,000	50,000	5,000円×10日(10月1日～10月10日)
海外旅行保険	10,000	0	自己財源
支出合計	151,340	100,000	※収入合計と一致していることをご確認ください。

○申請書記載要領

- 1 文字の大きさは11ポイント前後とし、出来るだけ3枚以内でまとめてください。なお、記入にあたっては、パソコンのワープロソフトを使用してください。
- 2 研修案内パンフレット等の研修の内容がわかる書類を添付してください。
- 3 「申請額」は、「収支予算書」の(収入の部)「本事業による助成金」の金額を記入してください。
- 4 「収支予算書」の(収入の部)「本事業による助成金」は、(支出の部)「助成対象経費」の合計額を、万単位(5万円以上10万円以下)としたものを記入してください。
- 5 「収支予算書」の収入合計と支出合計が一致していることを確認してください。